令和5年度　維持管理状況（6月1日～30日）

＜工場設置計器の測定結果＞

清掃工場名	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度（煙突）（$O_2$12%換算）	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去
	t/日			t	℃	℃	ppm	
有　明	400	1号炉	可	定期点検補修				ボイラ設備の除じんはボイラスートブロワ又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。
		2号炉		5,678.02	994　～　1,191	172　～　177	7～33	
千　歳	600	1号炉		5,479.37	931　～　1,114	159　～　165	1～7	
墨　田	600	1号炉		625.43	1,019　～　1,133	169　～　170	0～1	
新江東	1,800	1号炉		7,815.85	893　～　1,175	173　～　178	0～15	
		2号炉		14,322.13	923　～　1,163	175　～　179	2～8	
		3号炉		16,452.18	931　～　1,176	173　～　177	0～7	
港	900	1号炉		7,704.38	1,059　～　1,308	166　～　168	2～48	
		2号炉		8,439.72	985　～　1,305	168　～　170	1～46	
		3号炉		焼却炉停止中				
豊　島	400	1号炉		4,437.51	869　～　922	167　～　169	3～40	
		2号炉		定期点検補修				
渋　谷	200	1号炉		1,612.31	952　～　994	148　～　154	0～14	
中　央	600	1号炉		4,414.57	969　～　1,101	154　～　157	3～24	
		2号炉		定期点検補修				
板　橋	600	1号炉	燃	6,611.98	924　～　1,234	158　～　163	0～26	
		2号炉		6,156.09	1,020　～　1,274	158　～　164	0～20	
多摩川	300	1号炉		2,129.08	879　～　999	153　～　157	0～9	
		2号炉		定期点検補修				
足　立	700	1号炉		7,597.31	902　～　1,007	171　～　173	0～3	
		2号炉		8,291.69	905　～　1,014	170　～　180	1～5	
品　川	600	1号炉		6,349.82	902　～　1,044	174　～　176	0～5	
		2号炉		7,571.50	901　～　1,054	174　～　179	0～23	
葛　飾	500	1号炉	ご	2,824.62	942　～　1,071	153　～　170	2～48	
		2号炉		132.35	1,075　～　1,109	152　～　175	2～5	
世田谷	300	1号炉		4,298.49	884　～　984	177　～　192	0～55	
		2号炉		4,218.45	912　～　1,020	177　～　192	0～58	
大田　新	600	1号炉		6,225.14	840　～　1,072	150　～　170	2～29	
		2号炉		8,728.39	890　～　1,107	151　～　166	2～17	
大田　第一	600	1号炉		272.60	861　～　923	165	5～23	
		2号炉		焼却炉停止中				
		3号炉		4,527.67	803　～　983	162　～　173	1～110＊①	
練　馬	500	1号炉	み	5,824.09	843　～　1,022	153　～　172	1～4	
		2号炉		5,811.63	860　～　999	153　～　172	1～16	
杉　並	600	1号炉		4,918.95	899　～　954	154　～　162	0～6	
		2号炉		6,806.33	890　～　992	152　～　155	0～18	
光が丘	300	1号炉		4,359.58	878　～　1,031	153　～　176	2～19	
		2号炉		4,352.85	892　～　1,024	155　～　177	3～24	
目　黒	600	1号炉		7,375.60	890　～　982	154　～　172	0～6	
		2号炉		7,397.60	833　～　986	155　～　170	1～18	

中防灰溶融施設、破砕ごみ処理施設は休止しています。

測定値が維持管理計画値を超過した理由（※）

＜逸脱理由＞

＊①　大田清掃工場第一工場　3号炉　令和5年6月23日(金)　5:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が一時間平均値で110ppmを記録した。

給じん装置の不具合により適正なごみ供給が不可能となったことによる。

直ちに助燃バーナの運転及び給じん装置の復旧作業を行い、正常な燃焼状態に回復した。

令和5年度　維持管理状況（6月1日～30日）＜工場設置計器の測定結果＞より